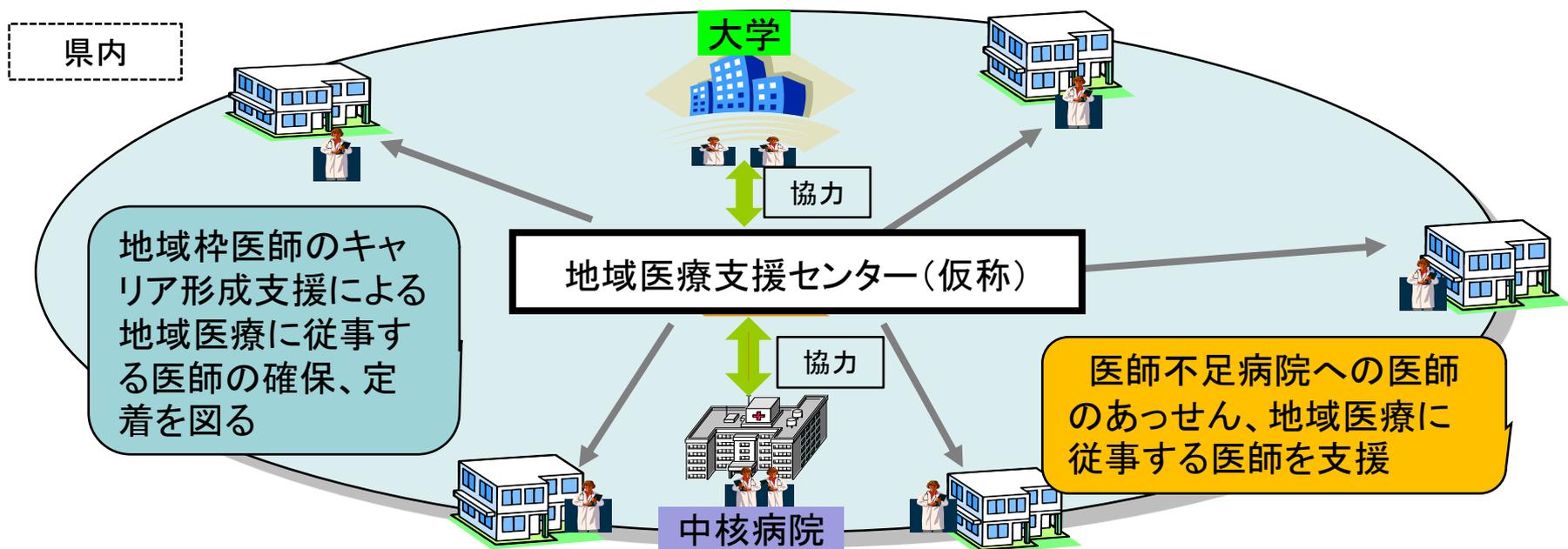


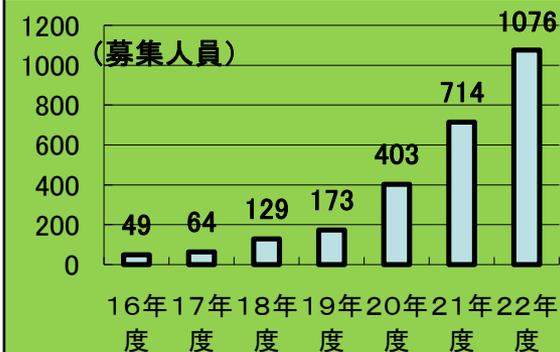
地域医療支援センター(仮称)のイメージ



事業の効果

- 医師としての将来に不安を持つことなく、地域医療に従事できる勤務環境を提供する(地域枠医師の活用等)
 - 県内で実施している医師確保対策の情報を総合窓口として一元的に提供する
 - 求人・求職情報を全国的に提供する
- 《地域医療に従事する医師を確保し、その定着を図ることにより、医師の地域偏在を解消する》

医学部定員における地域枠の推移(1年次)



地域枠医師のキャリア形成と地域定着を支援

地域医療支援センター(仮称)の役割



地域医療支援センター(仮称)

【地域枠医師のキャリア形成支援】

最新医療技術の習得機会が得られないことなどの地域枠医師の不安を解消し、地域医療への定着を図るためのキャリア形成支援（専門医、認定医の取得等）を実施

【指導医の養成と研修体制の整備】

若い医師は高い能力の指導医の下で医療技術等の習得を希望しているため、指導医の養成を行い、地域医療機関等に計画的に配置することで、地域での研修体制を整備

【地域医療に従事する医師の支援】

研修・学会等への出席期間中の代替医師の手当てや中核病院での研修など地域医療に従事する医師の支援を実施

【総合相談窓口と情報発信】

医師確保に係る総合相談窓口として、県内外の医師や医学生、高校生などからの様々な相談に対応。HPを開設し、地域枠医師の募集、医療機関の求人、都道府県内の医師確保対策の内容等を情報発信

【医師のあっせん】

内外の医師の求職情報、医療機関の求人情報、求人医療機関の施設概要等の情報を提供することを通じて、地域医療に従事することを希望する医師の地域医療機関等へのあっせんを実施

【地域医療関係者との意見調整】

支援センターを円滑に運営するためには、県内の医療関係者（大学、中核病院、医師会等）の協力がなければ成り立たないため、地域の医療提供体制の確保のために一体となって取り組むための意見調整を実施